

まちの できごと



7/26日



尾張津島天王祭・朝祭り

7月25日・26日に、ユネスコ無形文化遺産・国重要無形民俗文化財に登録されている「尾張津島天王祭」が開催されました。

26日の朝祭りでは、絢爛豪華に飾られた愛西市の「市江車」が先頭を務め、今年は上部に飾られた置物(能人形)が62年ぶりに「高砂」となり、縁起の良い姿で多くの来場者を魅了しました。

祭り最大の見どころである、10人の鉾持ちが布鉾を手に次々と池へ飛び込む場面では、会場から大きな歓声が上がり、大いに盛り上がりました。また、天候にも恵まれ、暑さの中で行われた神輿還御では、児(ちご)の皆さんも元気いっぱいにしてその大役を務めました。

連日猛暑ではありましたが、会場は多くの来場者でにぎわい、歴史と伝統を受け継ぐ尾張津島天王祭ならではの勇壮さと華やかさ、そして夏の風物詩ならではの熱気に包まれました。

